

令和5年8月市議会定例会が8月30日に開会され、市長が行政報告を行いました。このページでは、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。

市長から

8月15日に近畿地方を縦断した台風7号は、岡山県にも大きな被害をもたらしました。この台風により、被災された方には心よりお見舞いを申し上げます。

本市においては、大きな被害はありませんでしたが、暴風・波浪警報が発表された15日早朝から災害対策注意体制をとり、推移を見守るとともに、避難所開設の準備を整えました。

結果的に避難所開設には至りませんが、今後も空振りを恐れることなく、迅速な災害対応をしていきます。

梅雨明けから全国的に猛暑日が続く、この猛暑による熱中症患者の救急搬送は全国で1500人を超える状況と

なっており、瀬戸内市においても8月15日まで42人の熱中症の救急搬送がありました。

屋内で発生する熱中症は、65歳以上の高齢者が大半を占めています。このため、現在広報紙や防災アプリなどでエアコンの利用やこまめな水分・塩分補給の周知を行っています。

国は熱中症対策を強化するため、今年5月に気候変動適応法を改正し、熱中症対策実行計画を策定しました。

この計画では、熱中症警戒アラートによる情報提供や、高齢者や子どもなどの熱中症弱者に対する取り組み、学校現場における対策などが示されています。

また、地方公共団体の役割として、庁内体制を整備し、主体的な熱中症対策を推進することとされており、本市も

来年度に向け、組織横断的な熱中症対策を検討していくこととしています。

今年4月、こども基本法が施行され、こども施策をけん引する国の司令塔として、こども家庭庁が発足されました。本市では、こどもに関する取り組み・政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」を実現するという、こども家庭庁の趣旨に賛同し、9月5日に「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行います。

本市ではこれまで「子育て楽しむならせとうち」を進めるため、結婚新生活の支援、不育治療費助成、育児用品購入チケットの交付、18歳までの医療費の無償化、こどもひろばの開催など、結婚から子育てまで瀬戸内市独自の事業を実施しています。

賞しました。

備前長船刀剣博物館・瀬戸内市立美術館の展示

備前長船刀剣博物館では、11月25日から開催予定のテーマ展において、新収蔵品とともに国宝「山鳥毛」を展示する予定です。

瀬戸内市立美術館では、10月15日まで、特別展「木下晋展―生への祈り―」を開催しています。

木下晋氏は、鉛筆画家の第一人者といわれ、鉛筆の濃淡を駆使し、ハンセン病の回復者やパーキンソン病に苦しむ妻などをモデルに、病气や老い、孤独、生への祈り、希望、愛など、人間の内面世界を鉛筆画で表現しています。

美術館では、これらの作品展示に加え、3階ギャラリーでハンセン病のパネル展を開催しているダイバーシティ推進室と連携することにより、ハンセン病やパーキンソン病などについても考える機会となる展示としています。



また、現在各地域の実情に応じた効果的な少子化対策を推進することを目的とした岡山県の「少子化対策に挑戦する市町村バックアップ事業」の実施団体として、現状分析、課題の整理を行っており、この成果をもとに新年度の事業化を検討します。

今後も、子どもの視点で子どもの権利を保障するとともに、子育て世代が家庭や子育てに夢を持ち、子育ての喜びを実感できるまちづくりを進めます。

外国人相談窓口の設置

市内企業での外国人就労者は年々増加傾向にあり、本市には7月31日時点で632人の外国人が在住しています。

本市では、市内在住の外国人の相談ニーズに応えるために、瀬戸内市国際交流推進協

議会と連携し、外国人相談窓口をダイバーシティ推進室に設置します。

外国人が生活で困っていることや知りたいことがあるとき、情報提供や相談対応を行い、外国人を支援します。

相談窓口は9月1日から開設し、平日の午前9時から午後5時まで受け付けます。対応言語は英語、フランス語です。対応できない言語はAI翻訳機などを活用します。

多文化共生社会の実現に向けて、外国人を地域社会の一員として受け入れ、日本人も外国人も暮らしやすい国際性豊かなまちづくりを進めます。

ゼロカーボンシティ実現に向けて

環境省の交付金を活用し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。

一般家庭への太陽光発電設備や蓄電池、電気自動車などの導入に係る補助金の交付申請は、6月から受け付けを開始しています。

太陽光発電設備については100件の予定に対し、8月22日時点で84件の申請があり、市民の皆さんの関心が高いことがうかがえます。

また、公共施設では、消費電力使用量が一番多いクリーンセンターかもめの省エネ化を推進するため、施設内46カ所の作業用水銀灯をLED化します。

全国学力調査結果の公表

4月に実施した全国学力調査結果が7月末に公表されました。

瀬戸内市の平均正答率は、小学校6年生は、国語が全国平均を上回ったものの、算数はやや平均を下回る結果となりました。中学校3年生は、3教科全てで全国平均を上回り、特に数学と英語が大きく上回っています。